

日本臨床カンナビノイド学会

Japanese Clinical Association of Cannabinoids (JCAC)

第10回学術集会/総会

2024年 **11/17** (日)

海外で進む
日本で始まる
カンナビノイド研究



一般向けの公式サイトオープン
<https://cannabinoids.jp/>

カンナビノイドとは、薬用植物の大麻草 (*Cannabis sativa* L.) に含まれる 144 種類の生理活性物質の総称。内因性カンナビノイドとその受容体 (CB1, CB2) が 1990 年代に発見されてから世界中で創薬研究が進展

【講演】 11月17日(日) **13:00~17:00**
(受付開始 12:30)

【懇親会】 18:00~19:30

【参加】 正会員：医師、歯科医師、薬剤師、他の国家資格を有する医療従事者、医学・薬学研究者
賛助会員：個人及び企業関係者(法人)
会員としての参加費 10000円 懇親会 5000円
※2024年度の会費をお支払い済みの方

事前申込制
11/15
(金) まで

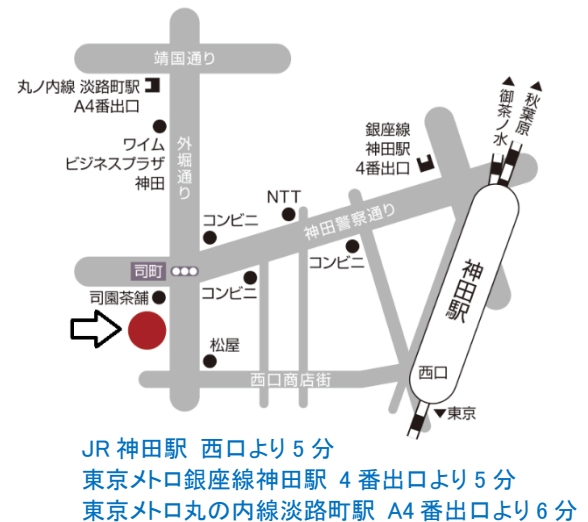
一般参加：20000円、懇親会 5000円

【定員】 80名(先着順、要予約)

【場所】 ワイム貸会議室 神田 Room 7A
東京都千代田区内神田 1-18-12 内神田東誠ビル 7F

主催：一般社団法人日本臨床カンナビノイド学会
共催：聖マリアンナ医科大学脳神経外科講座
連絡先(会員サイト)：<http://cannabis.kenkyuukai.jp/>

jcac-office@umin.ac.jp



JR 神田駅 西口より 5分
東京メトロ銀座線 神田駅 4番出口より 5分
東京メトロ丸の内線 淡路町駅 A4番出口より 6分



一般サイト



会員サイト

秋の学術集会に向けて

2023 年度は当学会においても大きな前進がありました。大麻取締法及び向精神薬取締法の一部を改正する法律が臨時国会で審議可決され、法律として公布されました。これにより、大麻由来の医薬品については、使用禁止とした大麻取締法が削除となり、大きな第一歩になったと評価されます。また、国際的にも著明な Cannabis and Cannabinoid Research が本学会の公式ジャーナル（学会誌）となりました。日本におけるカンナビノイド医療・研究の情報発信に利用いただけたらと思います。本学会で発表された内容を投稿していただけたらと思います。各演題発表を通じて、カンナビノイド関連の医学・医療に関する活発かつ有意義な情報交換が行われることを期待しております。

大会長 岸泰宏(本学会理事、日本医科大学武蔵小杉病院精神科 教授)

(9:30-11:30 厚生労働科学研究班会議)

12:00~13:00 理事会/昼食休憩

■プログラム (受付開始は 12:30 からになります)

13:00 大会長挨拶 & 基調講演
カンナビノイドの精神疾患・精神症状への利用
岸泰宏(本学会理事、日本医科大学武蔵小杉病院精神科 教授)

13:40 英国の医療大麻制度-厚生労働科学特別研究班・視察報告*
太組一朗 (聖マリアンナ医科大学教授)
三木直子 (一般社団法人 Green Zone Japan 理事)
* 本発表は、令和 6 (2024) 年度厚生労働科学特別研究事業/カンナビノイド医薬品とカンナビノイド製品の薬事監視
/研究代表者/太組一朗の支援を受けたものです。

14:20

休憩

14:40 一般演題
タイ王国での大麻治療の現状と展望
疋田康祐 (OhanaClinic、医師)
15:00 拘束ストレスマウスにおける脳内エンドカンナビノイド (2-アキドノイルグリセロール) のイメージング
佐藤徳子 (浜松医科大学細胞分子解剖学講座)

15:20 我が国の THC 残留限度値を巡る課題
天野開翔 (KCA ラボジャパン合同会社 オペレーションマネジャー)

15:40 教育講演
「栄養精神医学の重要性～メンタルヘルスは食事から～」
奥平智之 (日本栄養精神医学研究会会長/医療法人山口病院副院長)

16:40 会員総会

17:00

18:00 懇親会 (定員 20 名)

過去の発表例 (2015 年 9 月~2024 年 3 月) は、本学会が導入している m3.com システムにより、会員限定サイトに、発表者のパワーポイント資料及び動画を見ることができます。